

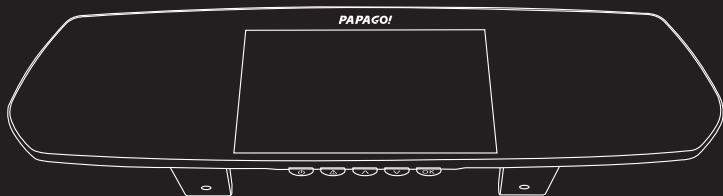
PAPAGO!®

Driving Partner with you!

取扱説明書 User Guide

GoSafe M790 series

ドライブレコーダー



地デジなどと電波干渉しにくい設計を採用

※画像はイメージです。

ドライブレコーダー 取扱説明書

この度は、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ドライブレコーダーのご使用にあたり、メモリーカードに関する事項をご説明します。

●製品を起動して、初期設定終了後に付属メモリーカードの初期化（フォーマット）を必ず本製品で実行してください。より安定や高画質と録画映像を保つため、様々なデバイスに使用するメモリーカードを本製品の録画形式へ書き換えます。

●本製品に使用するメモリーカード、シガープラグ電源ケーブルはドライブレコーダー専用でご利用ください。ドライブレコーダー以外の製品に使用しないでください。

●定期的なメンテナンスを推奨

月1～2回メモリーカードのフォーマット（初期化）を行ってください。

車両から供給される急激な電圧電流の影響及びメモリーカード側の仕様で一定期間経過すると上書きを邪魔する不要なデータが発生します。そのため上書きできずドライブレコーダーに様々な症状が起きる場合があります。解決方法としてメモリーカードをフォーマットすることで正常な状態に戻すことができます。また同時にメモリーカードの破損をチェックすることでより安心してご使用いただけます。



※必要なデータがある場合、バックアップを行ってからフォーマットを実行してください。
フォーマットを実行してしまうと全てのデータは消去されてしまいますのでご注意ください。

●メモリーカードについて

本製品は最大128GBまでのメモリーカードに対応します。

但し、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

ご不明な点がございましたら弊社ホームページよりお問い合わせください。

今後ともご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

注意事項（必ずお読みください）.....	3~8
1.はじめに.....	9~13
2.取り付け.....	11~23
3.使い方.....	26~31
4.録画／再生／削除.....	32~36
5.設定画面.....	37~55
6.故障かな？と思ったら.....	56~60
7.FAQ.....	61
8.修理について.....	62~63
9.使用上のご注意.....	64
10.製品に関するお問合せについて.....	65

注意事項（必ずお読みください）

1) 使用前のご注意

- 必ず本製品付属のシガープラグ電源ケーブルをご使用ください。他社製の電源ケーブルをご使用される場合は電源供給の不安定により起動しないことや録画中断、録画されない恐れがあります。
- シガーソケット分配器は電源供給の不安定により起動しないことや録画中断、録画されない恐れがありますので本製品と併用しないでください。
- 本製品の付属品以外の製品を使用されますと、本製品に損傷や損害、破壊などを与える恐れがあります。その際、本製品の故障が原因で生じた人身事故や火災事故、社会的な損害など当社では責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品の仕様やデザイン、ファームウェアなど品質向上の目的のため予告なしに変更や修正を行う場合がありますので定期的に弊社ホームページで最新情報をご確認ください。
- アイドリングストップやハイブリット、省エネなどの特殊な機能を持つ一部の車種において電源供給が低下することがあり、ドライブレコーダー本体の電源が落ちる場合があります。そのため各機能と連動しない安定供給できる電源へ配線してご使用ください。
- 本製品は映像と音声のデータを録画する装置ですが、すべての状況において映像と音声、データを録画することを保証するものではありません。万が一録画されなかった場合やデータの破損、録画内容で詳細を判別できないことによる損害、また本製品を使用することによって生じた損害につきまして当社では一切責任を負いません。
- 本製品は事故の検証に役立ちますが、証拠としての効力を保証するものではありません。

2) 配線時のご注意

- 本製品及びケーブルを車両に配線する前に、必ず本体の動作確認してから配線してください。
- ケーブルの配線時に車両側部品にはさまれたり突起物と干渉しないように必ず注意してください。
- 取付完了後、「ブレーキ」「ライト」「クラクション」「ウインカー」「キーロック」など全ての電装品が正常に動作することをご確認ください。
- 必ず整備工場や専門業者にご相談のうえ取り付けを行ってください。

3) メモリーカードについて

- 本製品は最大128GBまでのメモリーカードに対応します。
但し、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

● 参考録画時間

前方カメラのみ

メモリーカード容量	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
2304X1296p 30fps	約45分	約1時間20分	約2時間30分	約4時間30分	約8時間40分
1920X1080p 30fps	約1時間10分	約2時間10分	約4時間30分	約9時間10分	約18時間10分
1280X720p 60fps	約1時間20分	約2時間30分	約5時間10分	約10時間20分	約20時間30分
1280X720p 30fps	約2時間	約3時間50分	約7時間50分	約15時間50分	約31時間50分

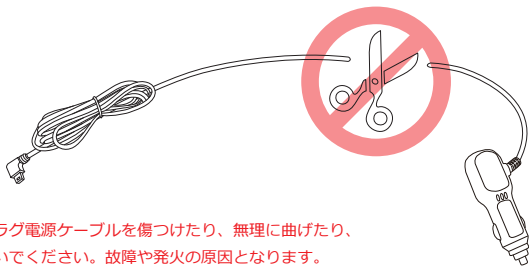
前後2カメラ使用時

メモリーカード容量	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
フロントカメラ 1920X1080p 30fps リアカメラ 1920X1080p 30fps	約50分	約1時間40分	約3時間20分	約6時間50分	約13時間30分
フロントカメラ 1920X1080p 30fps リアカメラ 1280X720p 30fps	約55分	約1時間50分	約3時間30分	約7時間10分	約14時間10分
フロントカメラ 2304X1296p 30fps リアカメラ 1280X720p 30fps	約40分	約1時間10分	約2時間10分	約4時間10分	約8時間10分

※上記値は参考値（目安）です。

※使用される周囲環境やメモリーカードの容量などの要因で録画可能な時間が異なります。

● 電源ケーブルの改造や加工



シガープラグ電源ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や発火の原因となります。

※改造した場合は保証対象外となります。

※イラストはイメージです。実物と異なる場合があります。

※本製品ドライブレコーダーへの入力電力仕様をよくご確認の上、電圧変換に十分ご配慮ください。電圧変換や配線などを間違えてしまうと本製品の故障・エンジン故障・事故の原因になります。詳しくは販売店または車整備専門店の方にご相談ください。

5) ご使用中のご注意

- エンジン停止後にシガーソケットへ電源供給される車両の場合、車両バッテリーの放電防止のために未使用時にはシガープラグ電源ケーブルを必ず抜いてください。
- エンジン停止後やアクシデントにより電流が切断された場合、一定時間録画状態を保てるように本製品にバックアップ電源（目安約5秒）を搭載しています。また本製品の電源オフ後もシステムやデータ保護のためにすぐに電源を切らない設計となっています。
- 本製品の電源が切れるまでメモリーカードを抜かないでください。メモリーカードに録画されたデータ破損や本体破損などが発生する場合がございます。

6) 安全上のご注意

製品を安全にご利用いただくため、ご使用前に以下の「安全上のご注意」をご確認ください。この取扱説明書では、お客様や周辺の方々への危害や財産への損害を未然に防止し製品を安全にお使いいただけるよう図記号を併せて注意・警告の喚起を行っています。

- 下記の表示は 誤った取扱によって生じる可能性のある危害・損害の程度を示しています。

 警告	死亡または重傷を負う可能性があります。
 注意	怪我をしたり、周辺の財産に損害を与える可能性があります。

- お客様に守っていただきたい内容を説明しています。

 禁止事項 (やってはいけない内容です)	 指示事項 (必ず行っていただきたい内容です)
---	---

 注 意	
 禁止 運転中に画面やLEDインジケータを注視しないでください。 前方不注意による事故の発生原因となる可能性があります。	 指示 安定した場所に設置・固定してください。 固定されていない状態および不安定な状態でのご使用は、急ブレーキなどの際、思わぬケガや損傷を負う危険があります。必ず固定してご使用ください。 取り付けはフロントガラスの上下範囲のうち上端から20%の範囲を目処に取り付けてください。※詳細は、P11をご覧ください。
 指示 規定容量のヒューズを使用してください。 必ず製品の規定容量のヒューズ(5V/1A)をご使用ください。	 禁止 ケーブルを引っ張らないでください。 シガープラグを抜く際は、ケーブルを引っ張ったりせず、必ずシガープラグを持って取り外してください。
 指示 音量にご注意ください。 電源起動時、スピーカーから大きな音が出ることがあります。電源を切る前に音量を下げておく、また適切な音量設定でご利用いただくなどご注意ください。	 禁止 停車中に長時間使用しないでください。 エンジン停止のまま長時間にわたり使用しないでください。バッテリーの放電によりエンジンが始動しない恐れがあります。

警告

 禁止	規定電圧以外で使用しないでください。 当製品はDC12V～24Vマイナスアース車専用です。規定外の電源・電圧での使用は発火・感電等の原因になります。	 指示	車を離れる時は電源を切ってください。 車種により、エンジン停止状態でもシガーソケットに常時給電されている車種があるため未使用時にはシガープラグ電源ケーブルを必ず抜いてください。
 水濡れ禁止	水をかけたり、濡らさないでください。 内部に水が入ると故障・発火・感電の原因になります。		
 禁止	運転の妨げになる場所に設置しないでください。 視界を妨げたり運転操作に支障のする場所には設置しないでください。 視界不良、操作ミスにより交通事故の原因となる可能性があります。	 指示	シガープラグを定期的に点検してください。 シガープラグやソケットを定期的に点検し、ホコリや汚れがないよう清掃してください。汚れによって動作不良や発火・感電等をひき起こす原因になります。
 指示	エアバッグにご注意ください。 エアバッグの作動範囲外に取り付けてください。 エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。		
 異常のときはシガープラグを抜く。	故障・異常の際はすぐに点検を！ 発煙、異臭、異音など異常が発生した場合は、シガープラグを抜き販売店に点検をご依頼ください。 発火・感電等の原因となります。	 禁止	運転中は操作しないでください。 走行中の操作は前方不注意・運転操作ミスによる事故の原因となります。 必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを掛けた状態で操作を行ってください。 また、手動録画操作等の際には周囲の安全を十分に確認してから操作を行ってください。
 禁止	分解・改造しないでください。 発火・感電・故障の原因となりますので絶対に分解・改造しないでください。		

本製品の故障または使用によって生じたあらゆる障害は直接的、間接的に問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

本製品の使用、または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記録内容の変化・消失など)に関して当社は一切の責任を負いかねます。

万一運転中に落下した場合は、急停車すると事故の原因になりますので、慌てずに周囲を確認してから安全な場所に停車してください。



※本製品ドライブレコーダーへの入力電力仕様をよくご確認の上、電圧変換に十分ご注意ください。
電圧変換や配線などを間違えてしまうと本製品の故障・エンジン故障・事故の原因になります。
詳しくは販売店または車整備専門店の方にご相談ください。

1.はじめに

1-1.本製品の付属内容 ご使用前に付属内容をご確認ください

①本体



②シガープラグ
電源ケーブル(約4m)



③リアカメラ



④リアカメラ
ケーブル(約7m)



⑤microSDHC
メモリーカード
(変換アダプター付き)



⑥取扱説明書



⑦保証書



⑧ステッカー



⑨リアガラス
マウント



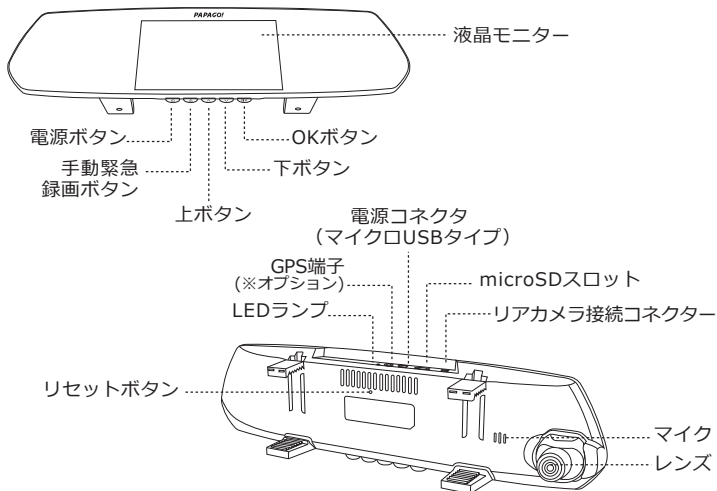
※動画再生用ソフト当社ホームページからダウンロードしてご利用いただけます

製品の改良や品質向上などの理由により予告なくデザインや仕様、付属品を変更する場合があります。予めご了承ください。

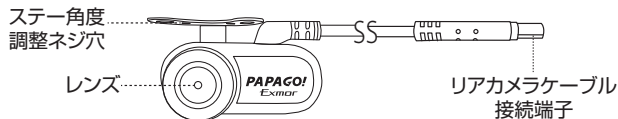
本製品付属の『メモリーカード』、『シガープラグ電源ケーブル』は、ドライブレコーダー専用部品としてご利用ください。故障の原因になります。その他製品に使用しないでください。

※イラストはイメージです。実物と異なる場合があります。

1-2.本体の各部名称

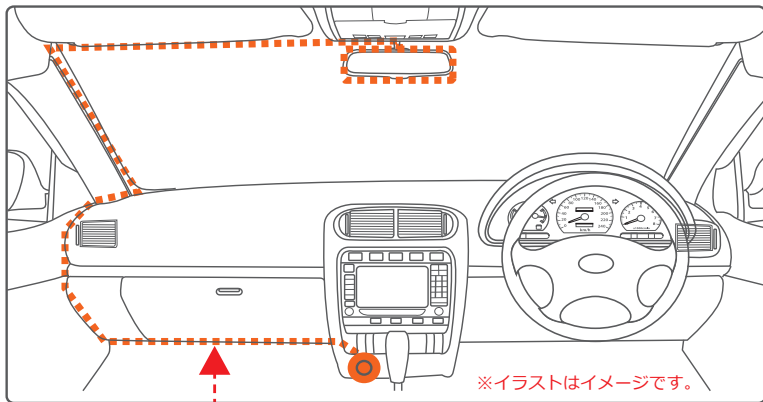


リアカメラ（前後2カメラモデルの場合）



2.取り付け

2-1.本体の取り付け位置を確認



電源ケーブルは視界の妨げにならないようガラスの縁などを這わせて金具等でしっかりと固定してください。

- ①本製品及びケーブルを車両に配線する前に、必ず本体の動作確認してから配線してください。
- ②本製品を運転中外れないように確認し、しっかりと固定してください。
- ③フロントガラスのフチの着色部やアンテナ、熱線などを避けて取り付けてください。

2-2.メモリーカードの取り付け



①メモリーカードの金属端子面を本体レンズの向きにしてメモリーカードスロットに挿入します。

②メモリーカードを軽く押し込み、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。

※バッテリーの残量がある場合は自動的に電源が入ります。



※本製品はmicroSDカード規格のメモリーカードを使用しています。メモリーカードの挿入や取り外す際に注意事項がございます。

挿入：指先やツメなどで奥まで押し込み「カチッ」と音が鳴るまで差し込みしてください。

取り外し：指先やツメなどで奥まで押し込み「カチッ」と音が鳴るまで押し込み、ゆっくり離すとカードが出てきます。

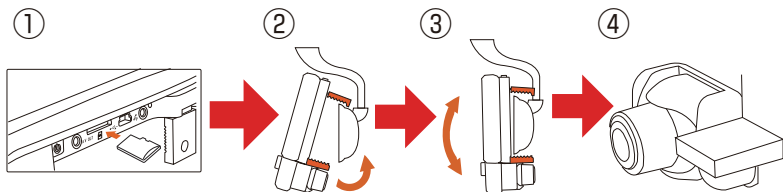
指やツメでメモリーカードを押し込みづらい場合は、先の細い棒状のものを使ってください。

2-3.取付準備



取付位置のガラスをクリーニングクロスで汚れや油分、水分を除いて清掃してください。

2-4.取り付け



①メモリーカードのセット：メモリーカードの金属面を下側にして、本体のカードスロットに挿入

②本体をルームミラーに挟みこみ：ルームミラーを手でおさえて取り付けください。取付アームを伸ばして固定範囲を広げる

③本体の取り付け位置・角度を調整：取付アームでルームミラーの上下挟んだ後、適切な位置・角度に調整

電源コードの接続：電源コードのmini USBコネクタを本体に接続し、車側に電源コードのシガーソケットを接続

④カメラアングルの調整：本体を起動した後、カメラレンズ部の角度を調整してください

3.リアカメラの取り付け（前後2カメラモデルの場合）

＜重要事項＞ 取り付け前に以下の内容を必ずご確認ください。



※取り付け前に本製品とリアカメラの動作テストを行って作業してください。



※リアカメラは車種によってはうまく取り付けできない場合があります。穴あけ加工など必要な場合は、自己責任のうえお取り付けください。カーエレクトロニクス製品の取り付け経験と知識のある業者へ事前にご相談を行ってからお取り付けください。

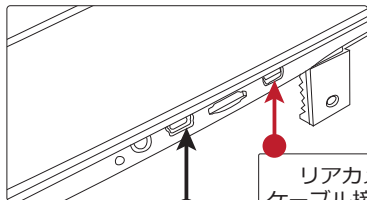
※車外からプライバシーを守るリアスモークやプライバシーガラス車の場合、車内からリアカメラで撮影しても見えにくくなります（特に夜間走行時）

※ラジオやテレビなどのアンテナ付近にケーブル配線すると受信感度に影響をする可能性もあるため、配線前に必ずケーブルに影響ないかご確認ください。

※両面テープの接地面が電熱線やアンテナなど重ならないようにしてください。

※製品の不具合や車との相性などによって発生する取り外し費用の負担、取り付けによる破損やケガなどいかなる場合でも当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

※リアカメラとケーブルを接続する際は、向きや挿入方向にお気を付けください。無理に挿入すると、ケーブル接続端子やリアカメラ自体の破損の原因となります。



シガープラグ
電源ケーブル
ミニ USB端子

リアカメラ
ケーブル接続端子



リアカメラのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。接続部分を十分に確認してからお取り付けください。無理に挿入すると、ケーブル接続端子やリアカメラ自体の破損の原因となります。

※GoSafe M790 S1での接続例

3-1.取付位置の確認



リア (車外)

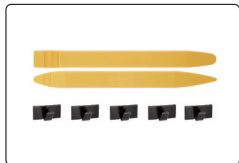


リア (車内)

3-2.取付準備



最初に取り付け位置を決めてください。
取付位置のガラスをクリーニングクロスで汚れや油分、水分を除いて清掃してください。



取り付け時に、運転の妨げないように、市販のパネルはがし、配線止め金具などを使用し、配線の取回しを行ってください。

3-3.リアカメラの取り付け（車外）



※取付例はあくまでも参考のため車種によって異なります。

※取付作業は業者及び自己責任のうえお取り付けください。



① 取付前に本体の動作確認を実施



② 2つのカメラ映像の表示と記録を確認 ③ 取付位置をクリーニング



④ 位置を決めたらリアカメラを取り付け ⑤ リアカメラとケーブルを接続



リアカメラとケーブルを接続する際は、向きや挿入方向にお気を付けください。
無理に挿入すると、ケーブル接続端子やリアカメラ自体の破損の原因となります。



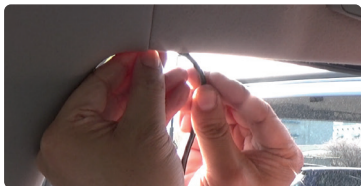
⑥ リアハッチへケーブルを配線 ⑦ 隙間に配線



⑧ 内側に配線



⑨ 後席のゴムを剥がす



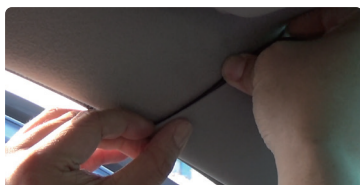
⑩ 配線を行う



⑪ センターピラーに配線



⑫ 助手席のゴムを剥がす



⑬ センターピラーから助手席へ配線



⑭ 本体付近まで配線



⑮ 電源ケーブルを本体へ接続



⑯ リアカメラを本体へ接続



⑰ 最後に本体画面で映像を確認



リアカメラのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。接続部分を十分に確認してからお取り付けください。

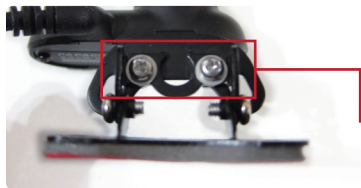
3-4.リアカメラの取り付け（車内）



※車種によって、リアカメラのベースブラケットを逆向きに回転させる必要があります。

取り付け前に車の仕様を確認していただき、専門業者様にご相談ください。

※ベースブラケットの逆向きに回転について下記の①、②ご参考ください。



① リアカメラ用ベースブラケットと本体の2か所にある固定用ネジを外す

② ベースブラケットを逆向きに回転し、再度ネジを本体ネジを締める



③ 取付前に本体の動作確認を実施



④ 2つのカメラ映像の表示と記録を確認



⑤ 取付位置をクリーニング



⑥ 位置を決めたらリアカメラを取り付け



⑦ リアカメラとケーブルを接続



⑧ ケーブル配線用クリップを用意(市販品)



リアカメラとケーブルを接続する際は、向きや挿入方向にお気を付けください。
無理に挿入すると、ケーブル接続端子やリアカメラ自体の破損の原因となります。



⑨ クリップで車内へ傷つけず簡単に配線



⑩ 本体付近まで配線



⑪ 電源ケーブルを本体へ接続



⑫ リアカメラを本体へ接続



⑬ 最後に本体画面で映像を確認



リアカメラのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。接続部分を十分に確認してからお取り付けください。

● 説明

リアカメラの取り付け時、リアガラスの角度によって取り付けできない場合があります。
「リアガラスマウント」を使うことでガラスの角度が約90度でも取り付けを可能になります。

×急な角度で取り付けできない



○リアガラスマウントを使えば、取り付けできる

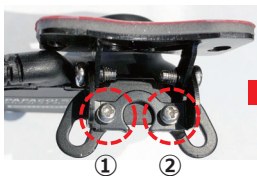


付属品：
リアガラスマウント x 1、
ネジ x 2、ナット x 2

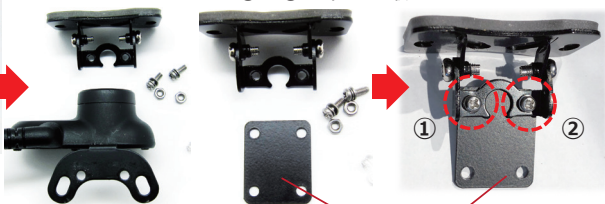


● 取付方法

(1) ①と②のネジを外す

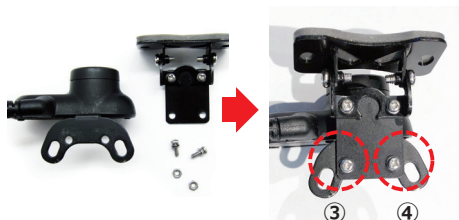


(2) リアガラスマウントに
①と②のネジを取りつける

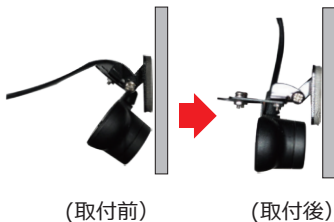


(リアガラスマウント)

(3) リアガラスマウントに
③と④を取りつける



(4) 取付完了



(取付前)

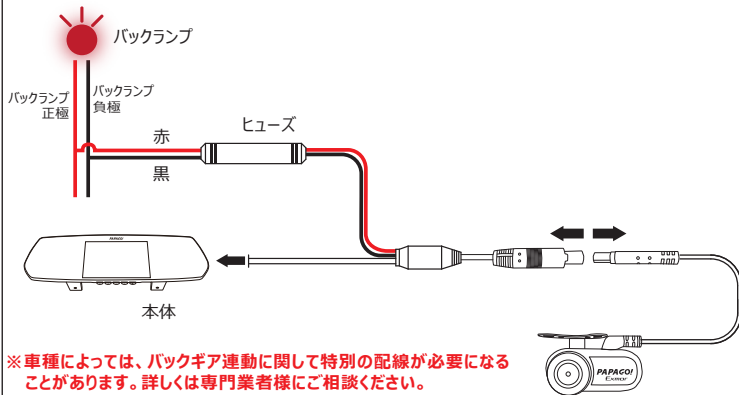
(取付後)

バックカメラ機能使用について（GoSafe M790S1対応）

当社GoSafe M790S1はバックカメラとして使用できます。



■接続について



3.使い方

本製品はお客様に満足、また快適にご使用いただくため万全の設計と品質管理のもと製造された製品です。しかし、天候状況や明るさなどの影響により録画された映像がはっきりしない場合や録画保存エラーが発生し一部製品の機能がうまく稼働できない場合もございますので、予めご了承ください。

- ・急激に明るさが変わる場合
- ・日光の影と日差しの逆光が強い
- ・走行中の激しい振動
- ・悪天候（大雨/雪/強風/濃霧/夜間など）
- ・消耗によるもの、地震・雷・火災など災害によるもの（自然災害を含む）、結露、環境要因に起因する電圧の変化など
- ・夜の光源がまったくない極端な場合など

3-1.起動

- ①シガープラグ電源ケーブルを車両のシガーソケットに接続してください。
- ②シガープラグ電源ケーブル側のミニ口USBコネクタを本体に接続してください。
- ③車のキースイッチをオンにして本製品を起動してください。



※製品起動の後、初期設定終了後に付属メモリーカードの初期化（フォーマット）を必ず本製品で実行してください。より安定や高画質と録画映像を保つため、様々なデバイスに使用するメモリーカードを本製品の録画形式へ書き換えます。

※本製品に使用するメモリーカードはドライブレコーダー専用でご利用ください。また、ドライブレコーダー以外のデータを保存しないでください。

3-2.初期設定（※初期設定を行わないと、録画することができません。）

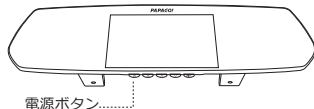
- ①ご使用になる言語を選び、「OKボタン」を押してください。
- ②「上ボタン」「下ボタン」「OKボタン」を使って日時を設定してください。
- ③「メモリーカード フォーマットしますか?」と表示されたら決定にカーソルを合わせて「OKボタン」を押してください。



※必ずデータのバックアップを行ってから作業してください。
設定を初期化（デフォルト）する時、メモリーカードのフォーマットを実行します。
フォーマットするとデータが消えてしまうため、必ずバックアップを行ってください。

3-3.電源オン/オフ

- ①メモリーカードの取り外しは完全に電源が切れたことを確認してから行ってください。
- ②電源ボタンを約5秒押すと電源オフ、電源ボタンを約5秒押すと電源オンになります。



まもなく
本体電源オフ



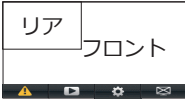
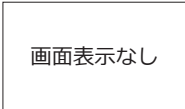
※車のキースイッチをACCまたはオンにすれば
電源オン

3-4.各ボタンの機能

操作ボタン						
録画モード	画面の表示					
	操作目的	電源オフ	手動録画 (緊急録画)	再生画面へ 移動	設定画面へ 移動 [長押し時] 静止画撮影	液晶画面 表示切替 [長押し時] 録音オン/オフ
ファイル 再生時 	画面の表示					OK
	操作目的	電源オフ	録画モードへ 移動	上へ移動	下へ移動	OKボタン
再生画面 (通常録画, 緊急録画, 写真ファイル)	画面の表示					
	操作目的	電源オフ	前へ戻る	削除	ファイル ロック/解除	再生/ 一時停止/ プレビュー
設定画面 	画面の表示					OK
	操作目的	電源オフ	前へ戻る	上へ移動	下へ移動	OKボタン

3-4-1.液晶画面の表示切替について

録画モード時に、 ボタンを押して、液晶画面表示を切替できます。

画面説明	実際の画面	2カメラの場合	本体のみの場合
リア フロント 		前後の映像 ↓	
リア 		後方の映像 ↓	
フロント 		前方の映像 ↓	前方の映像 ↓
画面表示なし 		画面オフ ↓	画面オフ ↓
		最初に戻る	最初に戻る

3-4-2.録音オン/オフ切替について

録画モード時に、 ボタンを長押しして、録音オン/オフを切替できます。



録画画面



長押し



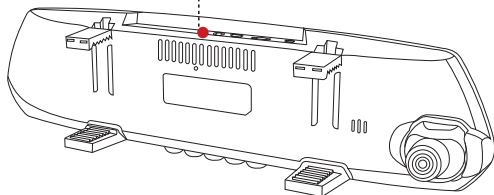
録音オフ

4-5.LEDランプ

※実際の点滅が見にくい場合があります。

LED表示	状態
緑 常時点灯	録画中/設定中
赤 常時点灯	充電中

LEDランプ



3-6.画面表示



- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ① ●02:48 : 録画時 (赤丸 ●点滅) | ⑩ : 電源コード使用時 |
| ② : 録音オフ時 | ⑪ : 内蔵バッテリー使用時 |
| ③ : 動体検知機能 (作動中) | ⑫ 2018/01/01 : 日付表示 |
| ④ : タイムラプス (作動中) | ⑬ 11:31 : 時刻表示 |
| ⑤ : 速度制限標識警告 (作動中) | ⑭ : スナップショット (静止画撮影) |
| ⑥ : 出発遅延警告 (作動中) | ⑮ : 手動録画 (緊急録画) ボタン |
| ⑦ : 緊急録画中 | ⑯ : 再生画面へ移動 |
| ⑧ : GPS信号受信中 (オプション) | ⑰ : 設定画面へ移動 |
| ⑨ : GPS信号未受信 (オプション) | ⑱ : 液晶画面オン/オフ切替 |

4.録画/再生/削除

4-1.常時録画（繰り返し上書き録画）

- 電源が入ると挿入済みのメモリーカードへ自動的に録画を開始
- 5分間で1ファイルのデータを連続して録画
- メモリーカードの容量が一杯になると自動的に古いファイルを上書きして録画
- 常時録画データはメモリーカードの『PAPAGO¥VIDEOS』へ自動的に保存

古い録画データを上書きして、繰り返し常時録画フォルダに保存



4-2.緊急録画

- 手動録画

常時録画中に緊急録画ボタン  を押せばデータをフォルダ『PAPAGO¥EMERGENCY』に保存

- 衝撃検知時録画

衝撃検知時に自動的に録画を緊急フォルダへ保存

※緊急フォルダに保存出来る容量は実際にご使用いただくメモリーカードの容量より約30%を設定しております。それを超えると録画ファイルの保存が出来なくなり、一番古いファイルから上書きします。

常に録画ファイル数を確認して他の場所（パソコンなど）に保存してから削除してください。

※緊急録画データはメモリーカードの『PAPAGO¥EMERGENCY』へ自動的に保存

衝撃録画・手動録画

衝撃検知や手動ボタンを押したタイミングによって、ファイルの保存方法が異なります。



A 開始 10 秒まで検知した時、**2つのファイル** を緊急録画フォルダに保存



B 開始と最後の 10 秒間以外で検知した時、**1つのファイル** を緊急録画フォルダへ保存



C 最後の 10 秒間で検知した時、**2つのファイル** を緊急録画フォルダに保存



4-3.スナップショット（静止画撮影）

- 常時録画を停止し、「メニュー」ボタンを長押ししていただき、「OK」ボタンを押せば、静止画撮影ができます。
- スナップショットで撮影したデータはメモリーカードの『PAPAGO¥PHOTOS』へ自動的に保存

4-4.映像の再生（削除時も同じ操作）

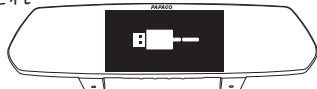
- ①録画モード時に、 ボタンを押して、プレイリストを表示
- ②フォルダを選択（通常録画/緊急録画/写真ファイル）
- ③ファイルを選択し、 ボタンを押して映像を再生
- ④  ボタンを押して、削除できます。



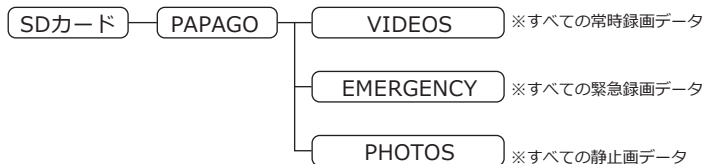
“アイコン”  は録画ファイル/写真をすでにロックし保護されていることを表します。すでにロックし保護されている録画ファイル/写真は削除できません。ロックを解除し再度操作してください。（保護されているファイル、メモリーカードの容量によって上書きされる可能性があります。常に録画ファイル数を確認して他の場所（パソコンなど）に保存してください。）

4-5.USB接続（データの読み取り） ※USBケーブルは付属しておりません。

- ① 本体とパソコンをUSBケーブルで接続するとパソコン側で『リムーバブルディスク』として認識されます。
- ② パソコンで『リムーバブルディスク』の「PAPAGOフォルダ」を開きます。
- ③ 必要なファイルを選択してパソコンにコピーしてください。



4-6.保存先フォルダ名



4-7.メモリーカード接続（データの読み取り）

- ① 本体の電源をオフにした後、メモリーカードを取り出してください。
- ② メモリーカードをパソコンに接続すると『リムーバブルディスク』と表示されます。
- ③ 『リムーバブルディスク』から必要なデータを選択し、パソコンにコピーして完了となります。

4-7.ファームウェアのアップデートについて

1.アップデートの判断

各機能や対応について調整や更新された際に新しいファームウェアをウェブで公開しております。対象製品が未掲載及びお持ちのバージョンが同じ場合、アップグレードの必要はございません。

2.ファームウェアのアップデート

※事前にメモリーカードに入っている必要なデータのバックアップをしてください。この作業はデータはすべて消去されますので、当社ではその責任を一切負えません。

①パソコンでPAPAGO JAPANウェブサイトへアクセス www.papago.co.jp

②「製品サポート」→「ダウンロード」→「ファームウェアの対象製品」を選択

③最新ファームウェアのデータをダウンロードし、メモリーカードへ保存

④メモリーカードを本体カードスロットへ挿入してから、本体の電源オン

⑤LEDランプが点滅し、アップデート（更新作業）完了後に自動的に再起動

⑥初期設定を終了後、「設定画面」→「デフォルト設定」を選択

⑦「すべての設定をクリアし初期化再起動」→「確認」を行ってください

⑧設定画面のバージョン情報を開き、バージョンを確認してください。

5.設定画面（走行中は大変危険なため絶対に操作を行わないでください）

本製品並びに取扱説明書や製品のファームウェアなどは品質向上のため、予告なしに変更または修正される場合があります。

更新情報は弊社ホームページ（URL: <https://www.papago.co.jp>）にて閲覧いただけます。不明な点に関しては、弊社お客様相談ホットラインで受付けております。詳しくは取扱説明書の（⇒ P 65）をご確認ください。

※録画モードで“”ボタンを押すと、設定画面に入ります。

※**クレア色枠（本印刷物）/黄色枠（本体操作時）**の設定は工場出荷時の初期設定となっております。また、場合によっては製造ロットにより、お手元の製品の設定がマニュアル表示と異なる場合がございますので、その場合はお手数ですが、再度設定をご確認ください。

設定	01/06
✓ 防犯検知機能	
安全走行	
ボタン音	
録音設定	
EV値設定	
解像度	

5-1. 防犯検知機能

■ 防犯検知機能（動体検知機能、タイムラプス機能）ご説明

＜重要事項＞ 取り付け前に以下の内容を必ずご確認ください。



● 本機能の使用について

本機能は「スマート常時直結電源コード」または常時電源供給装置が必要です。

品名：「スマート常時直結電源コード」 型番：A-JP-RVC-1

JAN：4582448450372

※必ずカーエレクトロニクス取付の経験と知識のある専門業者またはディーラーに常時接続に関する説明を受けてからお取り付けください。



●配線する前のチェック事項

「動体検知機能」が正しく動作しているか確認するため必ず配線前に動作チェックを行ってからお取り付けください。

- 1、カメラ前方を光を遮断できる厚紙でおおって隠してください。
- 2、「動体検知モード」をオンにする
- 3、1分間動体を検知しなければLEDランプの色が変化します。

(ここから動体検知機能がスタートし、待機モードになります)

- 4、厚紙を外して、動体を検知すれば記録を開始します。

●ドライブレコーダーとしてご使用時

防犯検知機能の作動時にドライブレコーダーの機能は正しく作動しません。「動体検知機能&タイムラプス機能」は車の停車中における防犯監視として設計されているため、ドライブレコーダーとして走行中に記録される場合には本機能をオフにしてご使用ください。動体検知オンの時は動体を記録する目的のため衝撃を受けてもセンサーは検知を行いません。またモニター画面が消えているため故障したと勘違いしてしまいますのでご注意ください。タイムラプス機能のご使用時でも機能をオフしてください。

ドライブレコーダー使用時：「動体検知機能&タイムラプス機能」設定をオフ
防犯検知機能の使用時：「動体検知機能&タイムラプス機能」設定をオン

●設定の切り替え（ドライブレコーダー⇄防犯検知機能）

自動切替ではなく、設定のオン/オフは手動で切り替えしてください。
ホームセキュリティでカギをロックするのと同じように人が判断して切り替えをする必要がございます。

●ご使用環境

前方に動体がある時に画像識別してしまうため連続して記録します。
例えば人や車どおりが多い場所や照明、光などの動きのある環境には適さないため撮影角度を調整、又は環境によってご使用をお控えください。

5-1-1. 動体検知機能

「動体検知機能」は動くもの（動体）が画像識別で検知した時、映像を記録する機能です。動体を検知しなくなった後、待機モードに切り替わります。

①「設定画面」→「防犯検知機能」→「動体検知」→「OK」で設定完了



②機能のご説明

動体検知監視機能を使用する際は「動体検知」をオンに設定してください。設定後、10秒後にモニター画面がオフになりLEDランプは緑点灯のままとなります。カメラ画面上のセンサーが約1分間検知しなければLEDランプ緑色点灯→点滅、「待機モード」に切り替わる。「待機モード中」にカメラ前方に人や車を検知した時、自動的に記録を行います（緑色点滅→点灯）。記録終了後、約1分間変化が無ければ再び「待機モード」に切り替わります（緑色点灯→点滅）。録画モードは約1分間録画します。録画モード中に新たな動体を検知した場合、検知した時点から1分間録画を延長します。1つのファイルは最大5分間のため、5分間を超える録画データを新しいファイルに記録します。

③ポップアップメッセージ

動体検知監視機能の動作中に「ボタン（どれでも）」を押すと機能を一時停止し、「ポップアップメッセージ」を確認できます。



件数は設定開始後の全ての合計件数を表示

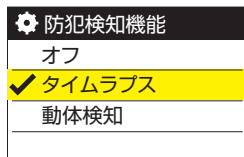
定期的にメモリーカードのデータ内容をご確認ください。また車や周辺状況に違和感を感じた時にデータ内容を確認し車の点検を行ってください。

5-1-2. タイムラプス機能

タイムラプス機能のON/OFFを設定します。

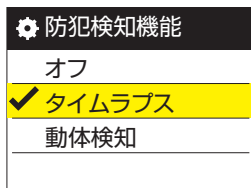
【初期設定】_____

オフ



タイムラプス機能は1秒間に1フレーム（1fps）で映像を記録します。標準的な1秒間30フレームの記憶容量よりも容量が小さいのでメモリーカードに長い時間記録可能です。

①「設定画面」→「防犯検知機能」→「タイムラプス」→「OK」で設定



②機能のご説明

「タイムラプス」を設定完了後、録画モードに移動すれば記録が始まります。

約10秒後にモニター画面がオフになりLEDランプは緑点灯のままで「タイムラプス形式」で記録を行います。

5-2. 安全走行

5-2-1. 初回使用時

初回取付時や本体再設置時の場合、撮影範囲が適正か確認しご使用ください。

安全安心機能はあくまでドライバーの運転を補助するものであり、あらゆる状況での衝突や事故を回避するものではありません。本機能には限界があるため、道路状況や車両状態、天候状態などによってうまく作動しないことがありますので、本機能を過信しないで必ずドライバーが責任をもって交通ルールのもと安全運転を心がけてください。また、本製品に記載してある速度などの数値は当社測定値に基づく値のため実際の速度や数値とは異なる場合がございますので予めご了承ください。

5-2-2. 録画範囲の調整

1. ボンネットが画面4分の1を超えない範囲で角度調整してください。
2. 各種機能は撮影する画面で判別するため適切な角度調整が必要です。

※本機能は車種（図例1）や製品の取付角度（図例2）、天候状況、日差しの反射、急激な明るさ反応等により、正しく判断しない場合があります。これは故障ではございませんのでそのままご使用ください。

図例1



図例2



5-3-1. 速度制限標識警告

音声：機能オン
警告音：機能オン
オフ：機能オフ

【初期設定】_____

音声

⚙ 速度制限標識警告
✓ 音声
警告音
オフ



※速度制限標識の手前もしくは本製品が認識出来る範囲内にしばらく停車する場合、繰り返し警告やアラームなどを表す場合もあります。

これは誤認識や不具合ではありません。予めご了承ください。

※※※速度制限標識警告※※※

路上の速度制限標識を撮影した画像識別で読み取り表示と音で警告します。
車の走行速度が道路上の速度制限標識の制限速度以上になる場合、「スピードオーバー」画面が表示→音声で「制限速度」警告が鳴る→音声で「スピードオーバー」警告が鳴って注意を促してくれます。

例 速度制限標識警告:

速度制限標識の制限速度以下になる場合

⚙ 速度制限標識警告
✓ 音声
警告音
オフ



「制限速度」画面+「制限速度」警告

※「警告音」設定の場合は「制限速度」画面+ビープ音

速度制限標識の制限速度以上になる場合

⚙️ 速度制限標識警告
✓ 音声
警告音
オフ

速度60km以上

スピードオーバー

+

制限速度60km!
スピードオーバー!!

「スピードオーバー」画面+「制限速度」警告
+「スピードオーバー」警告

※「警告音」設定の場合は「スピードオーバー」画面+ビップ音

5-3-2. 出発遅延警告

警告のオン/オフを設定

【初期設定】_____

オン

⚙️ 出発遅延警告
✓ オン
オフ

5-3-3. ドライバー疲労警告

警告の作動時間を設定
(30分間／1時間／2時間／オフ)

【初期設定】_____

2時間

⚙️ ドライバー疲労警告
30分間
1時間
✓ 2時間
オフ

5-3-4. ライト点灯忘れ警告

警告のオン/オフを設定

【初期設定】_____

オン

⚙️ ライト点灯忘れ警告
✓ オン
オフ

5-3-8. 速度超過警告

30～120kmを選択:機能オン
オフ:機能オフ

【初期設定】_____

オフ

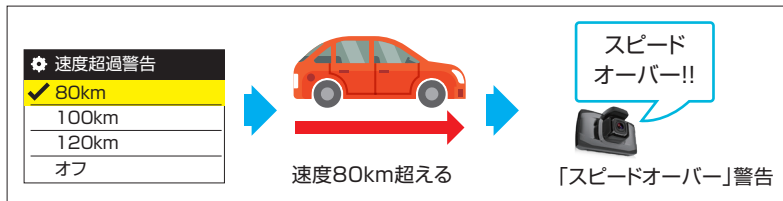
⚙ 速度超過警告
30km
40km
50km
60km
80km
100km

⚙ 速度超過警告
120km
✓ オフ

※※※速度超過警告※※※

車の走行速度が速度超過警告で設定した速度以上になる場合、音声で「スピードオーバー」警告が鳴って注意を促してくれます。

例:速度超過警告:80km設定の場合



※※※速度制限標識警告と速度超過警告表示について※※※

判定条件 設定	車の速度+標識  車速70km	車の速度+標識  車速90km	車の速度  車速90km
速度制限標識警告をオンにしている時 (音声を選択) 設定画面 速度制限標識警告 ☒ 音声 ☐ 警告音 ☐ オフ	① 警告表示  スピードオーバー ② 音声で警告 「制限速度〇〇km」 スピードオーバー!! 	① 警告表示  スピードオーバー ② 音声で警告 「制限速度〇〇km」 スピードオーバー!! 	反応しません
速度超過警告を80kmの速度に設定している時 設定画面 速度超過警告 ☒ 80km ☐ 100km ☐ 120km ☐ オフ	反応しません	音声で警告 スピードオーバー!! 	音声で警告 スピードオーバー!! 
同時に設定オンの場合	速度制限標識警告のみ作動	両方作動	速度超過警告のみ作動

5-4. ボタン音

ボタンを押したときに操作音を鳴らすか設定できます。

【初期設定】_____

80%

⚙️ 速度超過警告
20%
40%
60%
✓ 80%
100%
オフ

5-5. 録音設定

録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定できます。

【初期設定】_____

オン

⚙️ 録音設定
✓ オン
オフ

5-6. EV値設定

前方カメラのみ

フロントカメラのみ露出値（EV）を7段階のうち適切な露出値を調整

【初期設定】_____

+0.0

⚙️ EV値設定
✓ フロントカメラ
リアカメラ

⚙️ フロントカメラ
-1.0
-2/3
-1/3
✓ +0.0
+1/3
+2/3

前後2カメラ使用時

フロントカメラとリアカメラの
露出値（EV）を7段階のうち適
切な露出値を調整

※露出値により画質へ影響あります

【初期設定】 _____
+0.0

EV値設定

✓ フロントカメラ

リアカメラ

EV値設定

リアカメラ

-1.0

-2/3

-1/3

✓ +0.0

+1/3

+2/3

5-7. 解像度

前方カメラのみ

記録する解像度を選択

【初期設定】 _____
FHD 1080P 30FPS

解像度

SHD 1296P 30FPS

✓ FHD 1080P 30FPS

HD 720P 60FPS

HD 720P 30FPS

前後2カメラ使用時

記録する解像度を選択

【初期設定】 _____
前1080 P,後1080 P 30FPS

解像度

前1296P,後720P 30FPS

✓ 前1080P,後1080P 30FPS

前1080P,後720P 30FPS

5-8. リアカメラ設定

【初期設定】 _____
鏡像

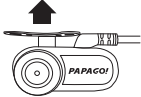
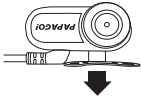
リアカメラ設定

正像

正像+反転

✓ 鏡像

鏡像+反転

リアカメラ取付位置	設定メニュー	映像表示と撮影
下向きに取り付け 	① 正像※1	後ろ向きの映像
	③ 鏡像※2	鏡に映った左右反対の映像 (ルームミラーに映ったような表示)
上向きに取り付け 	② 正像※1+ 反転	後ろ向き+上下反対の映像
	④ 鏡像※2+ 反転	鏡に映った上下+左右反対の映像 (ルームミラーに映ったような表示)

(左右が逆に)

※1 正像:実際にうしろに向いて見た景色。



例:



※2 鏡像:本来車に設置されたルームミラーと同じ景色が映出される。



例:



5-9. 液晶画面表示

前方カメラのみ

フロントカメラの映像のみ
選択できます

【初期設定】_____

フロントカメラ

前後2カメラ使用時

液晶画面表示を

①フロントカメラ

②リアカメラ

③フロントカメラ+リアカメラ

【初期設定】_____

フロントカメラ+リアカメラ

※液晶画面表示について

液晶画面表示

✓ フロントカメラ

リアカメラ

フロントカメラ+リアカメラ

液晶画面表示

フロントカメラ

リアカメラ

✓ フロントカメラ+リアカメラ

設定	画面説明	実際の画面
①フロントカメラ	フロント	
②リアカメラ	リア	
③フロントカメラ + リアカメラ	リア フロント	

5-10. Gセンサー

車の前後・左右・上下から車両の動きを検知し、万が一の事故など記録に役立ちます。衝撃を検出する感度を設定できます。

【初期設定】_____

中感度

⚙️ Gセンサー

低感度

☒ 中感度

高感度

オフ

5-11. 日付/時刻設定

日付、時刻を動画に記録するかしないか設定できます。
※YYYY/MM/DDの数字によって、年月日を表します。

【初期設定】_____

2019/01/01 00 : 00 : 00

⚙️ 日付/時刻設定

△
2019 / 01 / 09
▽
12 : 02 : 47
YYYY/MM/DD

5-12. タイムゾーン

タイムゾーンを設定

タイムゾーンとは
世界標準時間と日本時間の時差の設定です。
GPSを使う地域（国）によって違います。
日本の場合：時差+9時間の設定（GMT+9）

【初期設定】_____

GMT+9

⚙️ タイムゾーン

GMT+6

GMT+7

GMT+8

☒ GMT+9

GMT+10

GMT+11

5-13. 画面オートオフ

(モニター画面の自動オフ)
設定した間隔でモニター画面を1分/3分/常時オンから選択できます。

【初期設定】_____

常時オン

 画面オートオフ
30秒
1分間
3分間
☒ 常時オン

5-14. オープニング音楽

オープニング音楽のオン/オフを設定

【初期設定】_____

+オン

 オープニング音楽
オフ
☒ オン

5-15. データ付きビデオ

- ・日付/時刻
- ・車速/座標/進行方向を設定

 記録項目の設定
☒ 日付/時刻
車速/座標/進行方向

5-15-1. 日付/時刻

映像に時間表示オン/オフを設定

【初期設定】_____

+オン

 日付/時刻
☒ オン
オフ

5-15-2. 車速/座標/進行方向

映像に時間表示オフ/オン (Km) /
オン(Mile)を設定

※設定オンの場合、自動的にNorthや
South

【初期設定】_____

+オン

⚙️ 車速/座標/進行方向

オフ

✓ オン(Km)

オン(Mile)

5-16. アンチフリッカー

(東日本/西日本信号機対策)

LED信号の点滅と撮影周期が一致した時、LED信号が無点灯で記録される場合があります。LED信号の無灯火記録を防ぎLED信号の早い点滅で記録します。

【初期設定】_____

50Hz(東日本)

⚙️ アンチフリッカー

✓ 50Hz

60Hz

5-17. システム言語

(メニュー言語を設定)

日本語、英語、中国語(繁/簡)、
ドイツ語、フランス語、スペイン語
、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語など全10ヶ国語

【初期設定】_____

日本語

⚙️ システム言語

✓ 日本語

English

繁體中文

简体中文

Deutsch

Francais

5-18. フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）して正常な状態に復旧

※安定使用のため定期的に月1～2回推奨

【初期設定】_____

キャンセル

⚙️ フォーマット
メモリをフォーマットする全てのデータが消去されます
確認
キャンセル



この操作は実行するとメモリーカードに録画されたデータをすべて削除しますので必ず事前にデータのバックアップを行ってください。

※メモリーカードは書き込み回数制限を持ち製品寿命のある消耗品です。
約1年を目安に交換することをお勧めいたします。

5-19. フォーマット通知

メモリーカードを使用してからフォーマットする推奨日数を設定してお知らせします。

※安定使用のため定期的に月1～2回推奨

【初期設定】_____

30日

⚙️ フォーマット通知
15日
✓ 30日
60日
オフ

5-20. デフォルト設定

ご購入時の状態に設定を初期化

※設定の初期化後、各機能を再生設定してください。

【初期設定】_____

キャンセル

⚙️ デフォルト設定

全ての設定をクリアし
初期化再起動

確認

キャンセル



※必ずデータのバックアップを行ってから作業してください。

設定を初期化（デフォルト）する時、メモリーカードのフォーマットを実行します。
フォーマットするとデータが消えてしまうため、必ずバックアップを行ってください。

5-21. バージョン情報

ファームウェア（システム）のバージョンを表示

※画像はイメージです。実際のファームウェアバージョンと異なる場合があります。最新バージョン情報については、ホームページにてご確認ください。

URL:<https://www.papago.co.jp>

バージョン情報

M790:V1.02(JP)
Build:20181130

6.故障かな？と思ったら

サポートチェック事項（故障の疑いがある場合、こちらをご確認ください）

（１）エンジンキー位置

OFF（ロック状態）→エンジンスターートしてから本体の電源が入らない場合は、本体の故障の疑いがあります。

ACC（アクセサリー）の位置からエンジンスターートしている時、電源供給が不安定のため動作不安定になります。

キーの位置をACC→LOCK→エンジンスターートしてからご使用ください。



画像はイメージです。

■車のエンジンキー説明

LOCK（OFF）・・・エンジンOFF

ACC・・・エンジンはOFFですが、電気だけ流れるキーの位置

ON・・・STARTした後でエンジンONの状態。この位置で車は走ります

START・・・エンジンをかける位置

（２）ドライブレコーダーに必要な電力不足 ※配線している場合も同様 ドライブレコーダーの動作に必要な電圧電流が足りていない場合、さまざまな症状が発生します。

動作確認のため、以下の内容をご確認いただけますでしょうか。

必ず本製品に付属されている「シガープラグ電源ケーブル」を使って、車に標準装備されているシガーソケットへ接続して動作確認を行ってください。

※シガー分配器 / シガー延長 / 付属品以外のUSBチャージャーなどは外してください。電源供給の不安定により起動しないことや録画中断、録画されない恐れがあります。

(3) ドライブレコーダーの充電不足

本体に内蔵されたバックアップ電源は、本体設定や日時記憶、データを保存するまで動作することを目的として搭載しております。太陽の熱を浴び続ける過酷な環境で安全にご使用頂けるようにしております。夏場の安全対策として容量が小さくて充電速度の遅い部品を採用しているため、満充電の状態でも4～5日ほどで充電不足になる場合がございます。満充電は約2時間の通電が必要です。

そのため、ドライブレコーダーを満充電にしてから症状の有無をご確認ください。
※(2)の電力不足の状態だと、車での充電は行われていないケースも考えられます。

★ご家庭で充電・動作テストを行う

お手持ちの「ミニUSB⇄USBケーブル」と「スマートフォンなど充電するUSB充電アダプタ」で充電や動作確認を行います。

(4) メモリーカードのフォーマット

① ドライブレコーダー本体操作

必要なデータがある場合、事前にパソコンへ保存してください。

本体の「設定画面」→「フォーマット」→「確定を選択」→「OK」を押してください。



※本製品は上書きする設計ですが、メモリーカード側の仕様によって書き込み回数が多くなると不要なデータが溜まります。その解決方法としてメモリーカードを正常な状態に戻すため定期的に月1～2回フォーマットを実行してください。

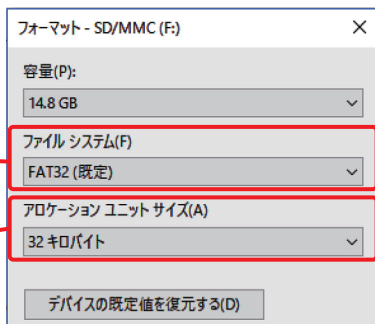
②パソコン操作

パソコンを使いFAT 3 2形式と3 2 K Bサイズでフォーマット後、ドライブレコーダー本体で再度フォーマットを行ってください。

ファイルシステム (F)
F A T 3 2 (既定)

アロケーションユニットサイズ (A)
3 2 キロバイト

※WINDOWSパソコンを使う場合。



(5) 消耗品であるメモリーカードの破損

メモリーカードをフォーマットしても症状が改善されない（フォーマットできない/データが削除できない/データが書き込みできない）場合にはメモリーカードの破損の疑いがあります。その場合は、別のメモリーカードで試して症状が改善されない場合には本体の故障ではございません。新しいメモリーカードをご用意いただき、交換してご使用ください。

本製品に対応しているメモリーカードはmicroSD 128GB(class 10)までとなっています。

(6) 設定の初期化（デフォルト）

本体の「設定画面」→「デフォルト設定」→「確定を選択」→「OK」を押して実行

(7) 電源ケーブルの接触不良

スマートフォンの充電時の接触不良の状態のように、ケーブルの「ねじれ」や「ひっかけ」などで接触不良になっていることが考えられます。通電中に、ケーブルを振ってみたり、コネクタを触ってみたりして変化がないかご確認ください。

(8) ファームウェア更新

公式ホームページに公開されているファームウェアへ更新をしてください。

※念のため、最新版であっても再度更新をオススメしております。

URL:<https://www.papago.co.jp>

(9) 特殊車両（アイドリングストップ、ハイブリット、省エネ機能の一部）

ドライブレコーダーは電源供給が行われると起動し、切断されると電源が切れます。そのためアイドリングストップと連動して電源供給が止まる場合、動作は終了します。

ハイブリット車のガソリンモードとバッテリーモードへ切り替わる時に電圧電流が急下降と急上昇している車両の場合、ドライブレコーダーは電源供給が無くなったと判断するため動作を終了します。再度電源供給が行われたことを検知して再起動します。

対策として、アイドリングストップやハイブリット機能と連動しない安定した電源供給を可能とした電源ラインから配線して電源供給を行ってください。

詳しくは車のメーカー様のサポートセンターにご確認いただき、車整備専門店に関する取り付け経験と知識のある業者様にご相談ください。

※本件の疑いがある場合

詳しくは、取扱説明書の(⇒P 57) (3) の「★ご家庭で充電・動作テストを行う」をご確認ください。外部電源で動作しているが、車に接続すると症状が発生する場合には特殊車両が原因と考えられます。

(10) 電波干渉について

本製品は、電波干渉を抑える設計ですがアンテナ線や特殊機器がある場合に影響する可能性があります。影響する主な原因は、「設置場所」か「電源配線」が考えられます。

①「設置場所」による影響

ドライブレコーダーの設置場所を調整してお取り付けください。

②「電源配線」による影響

お手持ちの「マイクロUSB⇄USBケーブル」と「スマートフォンを充電するモバイルバッテリー」で動作テストを行った時に症状が改善される場合、車の電源配線を通じて他の機器に影響していることが主な原因として考えられます。

対策としまして、配線先やアース位置など車整備専門店の知識と経験のある専門業者様にご相談ください。

※すべての影響を解決できることを保証する内容ではございませんので予めご了承ください。

7.FAQ

Q) 製品が起動しない

A) 「6. 故障かな? と思ったら」をご確認ください。詳しくは取扱説明書の (⇒ P 56) をご確認ください。

Q) モニター画面が表示されない

A) 録画モードでモニター表示がオフになっていないか確認してください。

"OK"キーを押しディスプレイ表示をオンにしてください。

Q) メモリーカードがいっぱい

A) パソコンにデータを保存してからメモリーカードをフォーマットしてください。

Q) 本体で映像を再生できない

A) 映像データのファイル名やフォルダ名が変更されていないかパソコンで確認してください。メモリーカード破損の可能性もあります。詳しくは取扱説明書の (⇒ P 58) をご確認ください。

Q) 映像を確認したい (パソコンを持っていない)

A) ドライブレコーダーのモニター画面で映像を再生することができます。詳しくは取扱説明書の (⇒ P 35) をご確認ください。

8.修理について

故障の疑いがある場合は、購入された販売店もしくは、弊社お客様相談ホットラインまでお問い合わせください。詳しくは取扱説明書の（⇒P65）をご確認ください。
保証期間対応の場合、必ずご購入日が記載された保証書（レシートなど）をご提示ください。保証書が無い場合は保証対象外となりますので、有償修理扱いになります。

☆必ず下記の付属品一式をご用意ください。

前方カメラのみ

- ① **ドライブレコーダー本体**
- ② **付属のシガープラグ電源ケーブル（電源コード）**
- ③ **付属のメモリーカード**

前後2カメラモデル

- ① **ドライブレコーダー本体**
- ② **リアカメラ**
- ③ **リアカメラケーブル**
- ④ **付属のシガープラグ電源ケーブル（電源コード）**
- ⑤ **付属のメモリーカード**

■ ご注意事項

※ 付属品の欠品により再修理となる場合、再修理ご依頼の往復の送料をご負担いただく場合もございます。
※ メモリーカードのデータは必ずバックアップを行ってください。
※ いかなる場合でも当社ではメモリーカードのデータを保証できかねますのでご了承ください。

修理依頼品をご発送いただく際の送料はお客様負担となります。
輸送中の破損や紛失などについて当社では一切責任を負いかねます。ご注意の
うえ梱包してください。

■保証期間対応

本製品ご購入後、1年以内の本体に対する保証期間となります。初期不良の対応期間はご購入日から1ヶ月以内までとなりますので、ご購入しましたら必ず動作確認を行ってください。ご購入後1ヶ月を経過しますと修理扱いとなります。詳細は別紙（保証書）をご確認ください。

10.使用上のご注意

- 長時間、車から離れる際は機器を取り外し、シガープラグ電源ケーブルを抜いてください。
- 湿気が多い場所や高温の場所に機器を放置しないでください。
- メモリーカードの性能を保つため、長時間機器をご使用にならない場合はメモリーカードを取り出してください。
- レンズの撮影効果に影響を与えないがありますが、本機のレンズに異物が付着した際は、指で直接レンズに触れないでください。
- 機器に異物が混入した際は弊社までご連絡ください。ご自身で本機や電源ケーブルを解体しないでください。

※修理依頼の前に！

お手数ですが、製品サポートチェック56ページをもう一度ご確認下さい。

※PAPAGO!製品に関するお問合せについて※

弊社は万全を期して製品や操作方法などを作成しましたが、万一ご不便やご不都合など、お気づきの点がありましたら、大変お手数ですが、どうぞご連絡をください。

公式ホームページのお問い合わせフォームをご記入頂く場合:

<https://www.papago.co.jp/service/>

製品メールサポート担当宛てにご連絡頂く場合:

support@papago.co.jp



一番 **0570-001-885** パパゴ

※一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間: 10:00～12:00 14:00～17:00
月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始特定休業日を除く)

本製品並びに取扱説明書や製品のファームウェアなどは品質向上のため、予告なしに変更または修正されることがあります。
大変お手数をお掛けして申し訳ありませんが、
お客様ご自身が弊社ホームページの更新情報を定期的に閲覧して
いただくことをお勧めします。

PAPAGO!

Driving Partner with you!

PAPAGO JAPAN株式会社

Designed in Taiwan, Made in China

Ver.16 MG11002



facebook

ページにいいね!
をしよう!

